



春のくににみで

くにみ流のおもてなし

くにみしゅらん

春の国見町を首都圏の女性に体験してもらい、町の魅力を広めてもらうことを目的とした体験型バスツアー「くにみしゅらん」が4月15日から16日にかけて行われました。今回の「くにみしゅらん」には首都圏に住む女性11人をお迎えし、国見の春を体験してもらいました。

国見町に到着した参加者のみなさんを、まずは鳥取の福源寺へご案内しました。福源寺では色鮮やかな天井絵を鑑賞し、お茶場でたくさんの郷土料理によるおもてなしを体験しました。その後、奥山家住宅へ移動し、洋館でディナー&コンサートが開かれました。ディナーではサイトウ洋食店の齋藤正臣シェフが作る国見産の野菜をふんだんに使った料理を食べながら、ギターとバイオリンによる生演奏を楽しみました。

2日目は満開の花が咲き誇るモモ畑での摘花体験からスタート。農業者の丁寧な指導のもと、参加者のみなさんは夢中になって摘花作業に取り組みました。摘花しながら、農家の方からモモ作りのこだわりについて話を聞き、交流を深めました。農業体験の後には内谷春日神社へ移動し、太々神楽を鑑賞しました。春日神社では、楽人のお囃子に合わせた優雅な舞が披露され、参加者からは拍手が贈られました。また、小坂地区のお母さんたちが作ったたくさん料理のおもてなしを体験し、ツアーが終了しました。

2日間という短い期間でしたが、たくさんの国見の春を体験してもらいました。「くにみしゅらん」は5月と6月にも開催します。

『国見のたからもの』No.24



内谷春日神社例大祭神輿渡御

今年は4年に1度の「神輿渡御」「山車巡行」が行われ、盛大な例大祭となりました。内谷の村社である春日神社を出た神輿と山車は、白張と呼ばれる神輿の担ぎ手、楽人、若連や子どもたちと内谷の坂道の多い里山を練り歩き、五穀豊穡を祈りました。子ども、親、祖父母まで3世代で担ぐ祭礼は、伝えたい内谷の誇りであり、国見のたからものです。

【問い合わせ：歴史まちづくり推進室 ☎ 585-2967】

～今月の表紙～



国見小学校で入学式が行われました。先生に一人一人名前を呼ばれた新入生。みんな少し緊張しながらも元気に返事できました。楽しい学校生活を過ごしてください。

目次

2	目次
3	くにみしゅらん
4	地域おこし協力隊
6	平成28年度の新たな取り組み
8	平成28年度町内会長会議
9	介護保険料の特別徴収を平準化します
10	復興のあしおと
11	まちのサークル（くにみ愛唱歌クラブ）
12	小さな天才たち（国見小学校）
14	笑顔のひろば
16	まちのわだい
18	保健だより
22	くらしの情報
24	生涯学習つうしんカレンダー